

備前市事務事業評価表

事務事業名	塵芥収集事業（吉永地区）		コード	01-01-14-09
			担当課・係	吉永市民福祉課 市民環境係
			担当者	貞友 武典
			電話	84-2592
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	ごみ処理		

事業について		
目的 (何のために)	吉永地域住民の生活環境の保全のため、地域内で発生する粗大ごみを安定的・継続的に処理する。	
対象 (誰・何を対象に)	吉永地域住民	
内容	吉永地域の塵芥収集は和気北部衛生施設組合に委託して実施されておりますが、粗大ごみについては、一部持ち込み可能なものを除いては収集してもらえない状況です。そこで、吉永地域唯一の業者に収集を委託し、いつ、何時でも無料（一部、処分料等が必要）で持ち込める態勢を整えている。	

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
粗大ごみ処理件数	4,407 件	4,119 件	
吉永地域世帯数	1,832 世帯	1,835 世帯	
委託料	630,000 円	630,000 円	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	630	国庫補助金等	直接事業費	630	国庫補助金等	直接事業費	630
	人件費	2,510	委託料負担	人件費	2,275	委託料負担	人件費	2,275
	合計	3,140	市債 一般財源等	3,140	合計	2,905	市債 一般財源等	2,905

結果指標	必要人員	0.30 人	0.25 人	
	結果指標名	処理件数	処理件数	
	結果指標量	4,407 件	4,119 件	
結果指標	対前年比	—	93.46%	0.00%
	活動にかかるコスト	3,140,000 円	2,905,000 円	
	単位当たりコスト	713 円	705 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	地域内で発生する粗大ごみを安定的・継続的に処理して、地域住民の利便性向上を図る。		
成果指標名	1件あたりのコスト	式又は説明	委託料 / 粗大ごみ処理実績報告件数
成果指標量	17年度	713	18年度
	713	705	705
対前年比	—	98.95%	0.00%
到達目標値	需要の充足100%	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等)	妥当性評価<A~E> D 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	和気北部衛生施設組合が行っている粗大ごみ収集は、年1回の収集日以外は和気町のクリーンセンターへ持ち込みとなっていることや、収集できる粗大ごみについても制限されているなど利用者に不便を強いている。この事業の実施により、地域内に何時でも持ち込み処理することが可能になり、また、収集できる粗大ごみについても間口が広がることから、利用者の利便性向上が図られている。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> D 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	粗大ごみはその大きさ、重量とも一定でないことから、実績で提出される処理量(品名×件数)に対する委託料の額が適当かどうかの判断が難しいことが挙げられる。また、合併した市町でその取り扱いについて整合性がないことから、今後の調整が必要である。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> D 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	地域内で粗大ごみが処理できるため、苦情やトラブルが減少し、また、問い合わせに対してもスムーズな案内ができています。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
効率性の評価欄でも述べたように委託料の算定方法が難しいが、厳しい財政難を理由に減額を申し入れ、一部の粗大ごみについて有料化で対応してもらったことにより折り合った。		

目標値	結果指標量	結果指標量
	結果指標量	

総合評価	地域内で粗大ごみが処理できることで受け入れられている事業ではあるが、合併した市町でその取り扱いについて整合していないことから、今後、更なる調整が必要である。	評価区分 <A~E> D
------	--	--

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果